

当院整形外科では腰部脊柱管狭窄症、圧迫骨折、椎間板ヘルニア、変形性膝関節症、膝前十字靱帯損傷の治療を積極的に行っています！

ようぶせきちゅうかんきょうさくしょう

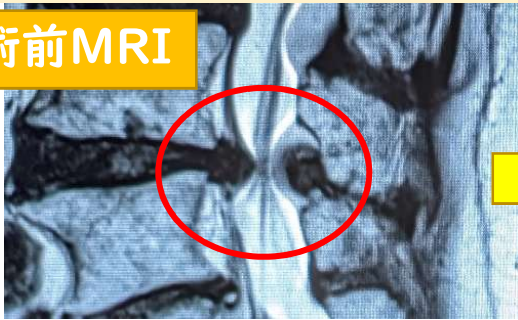
腰部脊柱管狭窄症の治療として、当院では内視鏡を使った手術方法

きょくときじゅうかつしきないしきょうか ついきゅうせつじょじゅつ

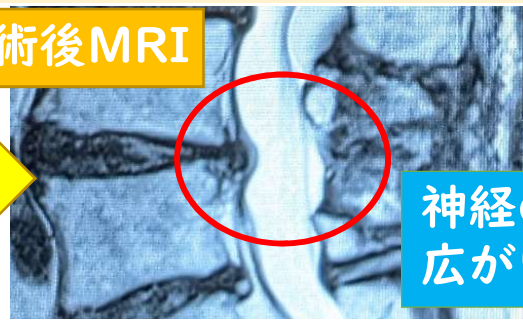
棘突起縦割式内視鏡下椎弓切除術(Y-method)を多く手がけています。この手術は、背中の筋肉を大きく切らずに、細いカメラを使って背骨の一部をけずり、神経の通り道を広げる方法です。

- 手術時間は約1時間半で出血は少なく、体への負担も軽い
- 翌日から歩くことができ、5日から7日ほどで退院可能
- リハビリは基本的に不要
- 体力のある方であれば、80代でも術後にはゴルフなどの趣味に復帰可能

術前MRI



術後MRI



神経の狭窄が
広がりました

あっぱくこっせつ

圧迫骨折は背骨がつぶれてしまう骨折で、高齢の方に多く見られます。当院では、**VBS手術**という方法を用いて、つぶれた背骨（椎体）を小さなステントで広げ、そこにセメントを流し込んで固定します。

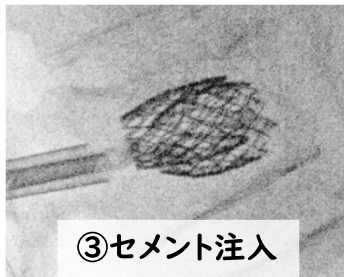
手術時間は約40分ほどで傷はわずか5mmのものが2か所だけです。翌日から痛みは軽減し、5～7日ほどで退院可能です。



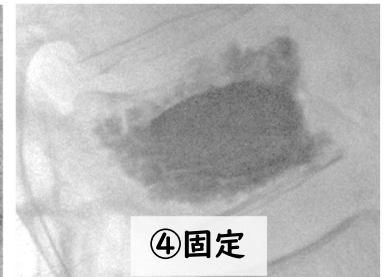
①ステント挿入



②広げる



③セメント注入



④固定

当院の強み

脊椎脊髄病学会の指導医（神、古森）在籍
膝関節鏡手術の専門医（星田）在籍
手・肘手術の専門医（富田）在籍
骨粗鬆症の診断治療を得意としています

ここがポイント💡



（院内配布用、医療機関向け情報提供用）

地方独立行政法人 東京都立病院機構

東京都立荏原病院

Tokyo Metropolitan Ebara Hospital

ぜんじゅうじじんたい はんげつばん

かんせつきょう

前十字靱帯や半月板の損傷に対しては、関節鏡という小さなカメラを使った手術を行います。関節の中を直接見て損傷部分を修復します。

へんけいせい しつかんせつきょう

変形性膝関節症には症状に応じて、

人工関節を入れる手術（TKA=全置換術、UKA=部分置換術）

または**骨を一部切って膝のバランスを整える骨切り術**を行います。

これらの手術はいずれも1～2時間程度で終わり、術後1～3週間ほどの入院で退院が可能です。

ACL再建術



骨切術



UKA



当治療の専門医プロフィール



整形外科部長
神 與市

◆卒業大学

昭和医科大学

◆専門・研究分野等

脊椎・脊髄外科、
整形外科全般

◆資格

日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄外科指導医
日本整形外科学会 整形外科専門医
日本スポーツ協会 公認スポーツドクター
昭和大学整形外科客員教授、医学博士

荏原病院
公式キャラクター
エバラッコ



診療日

受付時間 平日：8:30～16:00

土曜日：8:30～11:00

診療時間 平日：9:00～17:00

土曜日：9:00～12:00

その他診療科はホームページで
紹介しています。詳細は、**QR
コード**を読み取ってご覧ください。



※当院は原則として紹介予約制で診療しています。

※診療科によって、外来診療の曜日及び時間が
異なりますので、ご了承ください。

土曜日は、医師の指示による予約診療に限ります。

予約専用 TEL：03 - 5734 - 5489

病院代表 TEL：03 - 5734 - 8000



発行：令和7年11月

東京都立荏原病院計画課